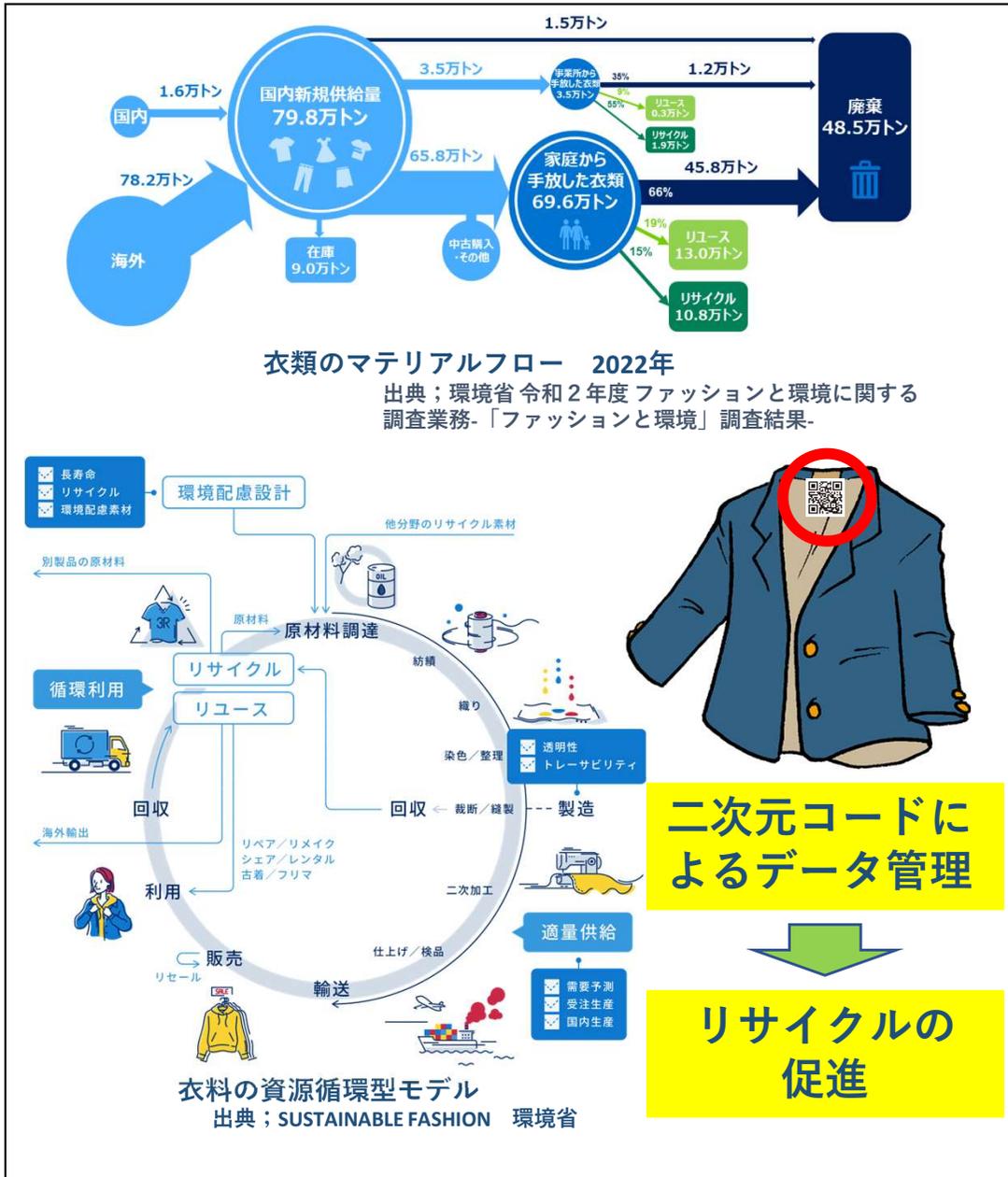


IoTセンサーや機器を用いた 資源循環を促進する方法に関する研究

研究概要



① 繊維・衣料廃棄物の現状

・繊維・衣料廃棄物の焼却・埋立処理される割合は、世界全体で73%、日本でも61%と高く、リサイクル率が低い。

・ファストファッションの影響もあり、大量生産・大量廃棄が現在も続いている。

・日本では繊維・衣料に関するリサイクル法が策定されていない。

② 二次元コードを活用した繊維・衣料廃棄物のリサイクル促進のため仕組み

・サプライチェーンのデジタル化による管理

・消費者への製品情報やリサイクル情報の認知

・消費者のリサイクルに向けた行動変容を促す